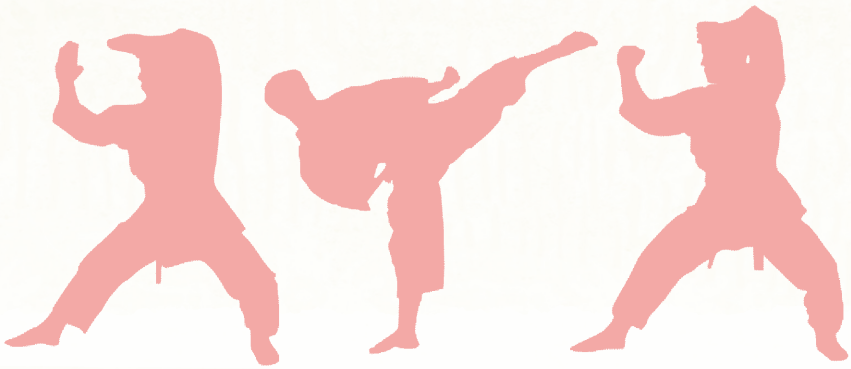
皮膚科と武道とジャズ鑑賞

是枝　哲
これえだ皮フ科医院院長

平成 2（1990）年に京都大学皮膚科に入局してから 30 年以上のキャリアになるが，主に臨床に力を入れて皮膚科医生活を営んできた．生活の中心は皮膚科の仕事で，大学の病棟医長時代は土日であっても 1 時間ほどは病棟に顔を出すような日常であった．ところが父が肺癌で自宅療養となり，金曜の夜から日曜までは神戸の実家で過ごすことにしたため，週末の病棟は部下たちに任せざるをえなくなった．そうしてみると，連絡を怠らなければ仕事はちゃんと回るもので，そう理解するとそれ以後は時間の使い方にもう少し幅をもたせるように考えを改めた．

父の逝去後には，自分の趣味にもう少し時間を割いてみようかなと考えるようになった．そしてジャズのライブ鑑賞に力を入れるようになり，自分が推している関東のミュージシャンの京都でのライブを企画したりした．そして学生時代にやっていた空手を再び始めることになった．というのは次のような経緯である．そのころにちょうど今野敏という作家の小説が面白くてはまってしまい，いろいろ作品を読み進めているうちにこの小説家はジャズが好きで空手を教えていたりすることに気がついた．私は大学時代には空手道部に所属し，ジャズ喫茶に毎日通うという生活をしていたので，非常に親近感を覚えるようになった．そして，しばらくして今野敏のデビュー作が，レジェンドなジャズドラマーである森山威男さんをモデルにして書いた「怪物が街にやってくる」であることを知って，飛び上がるほど驚いた．森山さんは大学時代から聴いていた大好きなジャズミュージシャンだったのだ．これには運命的なものを感じ，今野先生が主宰する空手団体「今野塾」に大阪支部があることを知り，さっそく入門することにした．それから 15 年以上が経ち，いまは私が大阪支部の支部長を務めている．

2026/09/12 07:49:30



京都大学，関西医科大学，天理よろづ相談所病院に勤めたが，どこの職場にいたときも武道とジャズ鑑賞は続けた．そして開業して７年になるが，夜の７時まで診療をしているため夜のライブ鑑賞は１ステージ目には間に合わないようになったが，注目しているミュージシャンのライブには途中からでも聴きに行っている．そして空手のほうは毎週土曜日に大阪のスポーツセンターで練習している．ここのところ学会に Web 参加できるようになったこともあり，練習と学会が重なったときにはスマホで学会を視聴しながら練習を見学したりすることもある．それと並行して，木曜日の午後は柔術を習いに大阪に通っている．

さて，肝心の皮膚科の仕事であるが，勤務医であったときに比べると，粉瘤や爪疾患に携わる割合が増えてきた．粉瘤の依頼原稿を書くこともあったり，爪治療については講演を何度か行ったり，勤務医であったころとはちょっと違った趣があり，それなりに充実している．

仕事にしても音楽や武道の趣味にしても，自分の好きなもの，興味があるものを思う存分やるということが大切なのではないだろうか．ワークライフバランスという言葉を聞いてそのように感じている．

2026/09/12 07:49:30